

関西大学高等教育研究 執筆要領

- 1 本誌に掲載される論文等 1 篇の分量（日本語の表題・著者名、英語の表題・著者名・要旨（Abstract）、キーワード、図表を含む）は、原則として以下とする。ただし、編集委員会が認める場合はこの限りではない。
論文 : 20,000 字（12 ページ）以内
研究ノート : 13,000 字（8 ページ）以内
その他 : 6,500 字（4 ページ）以内
- 2 原稿は「原稿テンプレート」に則りモノクロ・Word 形式で作成の上、指定された期限内に投稿を行う。なお本誌に掲載された書類等は返却しない。
- 3 原稿は、サイズは A4 判、マージンは上下左右ともに 25mm、1 行 22 字、1 ページ 40 行の 2 段組みの指定されたフォーマットで作成する。図表を挿入する場合、上に示した総頁数を越えないようにする。
- 4 提出の際には Word 形式の原稿、PDF 形式の原稿、「投稿者カード」、「チェックリスト」を指定された期限までに提出する。
- 5 執筆言語は、原則として日本語とする。「タイトル」は日本語と英語で記載する。「キーワード」は 3～5 語で日本語と英語ともに記載する。英語の「タイトル」、「キーワード」に関しては、専門家（論文内容についてある程度知識があり、英文校閲の能力があると判断されるネイティブもしくは同等の者）の校閲を経たものとする。論文と研究ノートの場合はこれに加えて要旨を記載してから本文を始める。要旨の分量は、400 字以下とする。
- 6 「タイトル」と要旨の間に執筆者（所属）を日本語と英語で記載する。執筆者が複数の場合は、執筆代表者を連名者の筆頭に置き、日本語で全員分記載後、英語で記載する。
- 7 見出しは、すべて横見出しとし、アラビア数字で番号を付す。10.5 ポイント・MS 明朝・太字とし、半角数字、ピリオド、全角スペースの順で統一する（例：1. オンライン授業について）。また、見出しごとに本文の最後に一行改行を入れる。
- 8 句読点は「、」「。」を用い、基本的には括弧は全角の丸括弧を用いる。ただし、括弧の前後が英数字や「,」「.」の場合は半角の丸括弧を用いる。例：Kansai University(KU), Suita University
- 9 図及び表には連番を付し、簡潔な見出しをつける。また、図表前後に一行ずつ改行を入れる。
- 10 本文における参考文献は、（著者名、刊行年）のように表示する。複数の参考文献を同じ箇所に表示する場合は、「(山手、2013；垂水、2015)」とする。著者が 2 名の場合は「関大・吹田 (2019) は...」「Michael & Mike (2019)」とし、3 名以上の場合は「関大他 (2019) は...」「Michael et al. (2019)...」とする。同一著者の同一刊行年の異なる文献を引用する場合は、刊行年の後にアルファベットを付して区別する（例：2006a, 2006b, ...）。
- 11 「註」及び参考文献は、本文の末尾に一括して記載する。本文中での「註」の指示は、上付きの連番で示す。括弧は付けない。参考文献は、「註」の後に著者名のアルファベット順で記載する。

また、参考文献の表記は別紙「参考文献の表記について」にしたがう。

12 英語以外の外国語の表記について、以下の通り記載する。

(1) 本文中の表記について

文言の後に括弧付きで和訳を表記する。

例) 日本人の韓国語学習者を対象とした調査では、「일본 (日本)」という単語を正しく発音できる学習者が多かった。

(2) 参考文献の表記について

1件ごと、文言すべての後に括弧付きで和訳を表記する。

例) 김상준(2010)『한국의 교육정책』서울: 한길사 (キム・サンジュン (2010)『韓国の教育政策』ソウル: ハンギル社)

(3) その他

和訳の表記は、固有名詞で漢字表記がある場合は漢字優先とし、不明な場合はカタカナとする。ただし、個人名についてはカタカナ表記とする。

体裁やその他要領については、「執筆要領」及び「参考文献の表記について」に沿う。